

OASE Operation Autonomy Support Engine Zabbix連携 [座学]

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

Exastro Operation Autonomy Support Engine Version 1.5 Exastro developer

目次

- 1. はじめに
 - 1.1 Zabbix連携【座学】について
- 2. フローの説明
 - 2.1 フロー全体図
 - 2.2 監視対象の設定
 - 2.3 モニタリングの設定
 - 2.4 ルールマッチング~アクションの設定

1. はじめに



1.1 Zabbix連携【座学】について (1/2)

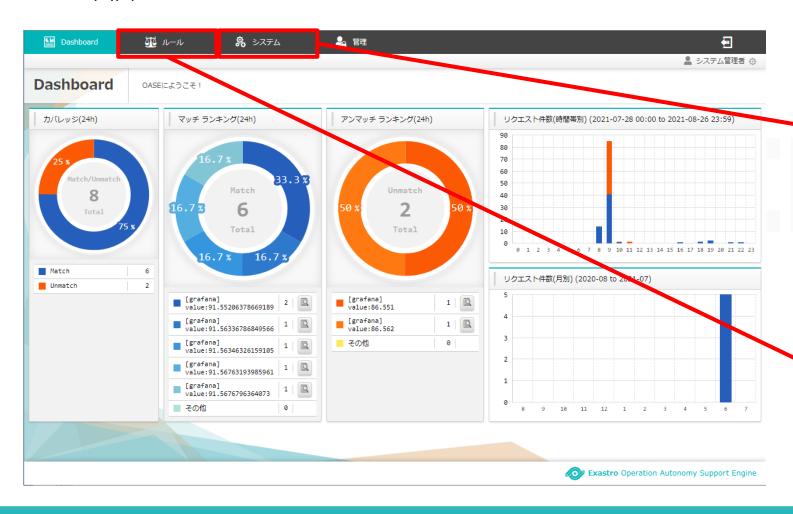
まえがき

- 本稿は、Exastro Operation Autonomy Support Engine (OASE) を利用する上で、基本的な機能の理解を支援するための資料です。
- OASEはいくつかのソフトウェアと連携が可能ですが、本稿では 「Zabbixアダプタ」および「メールドライバ」との連携 を対象とします。
- ●実践形式でさらなる知識を深めたい場合は、具体的な手順に沿った資料である < Exastro OASE Zabbix連携【実習】 > をご参照ください。
- ●包括的な内容としては、Exastro OASE の公式マニュアル集である < OASE docs >をご参照ください。



1.1 Zabbix連携【座学】について (2/2)

- Zabbix連携はOASEの以下機能(画面)を用いる
 - Dashboard画面



カテゴリ:システム画面名称
監視アダプタ
アクション設定

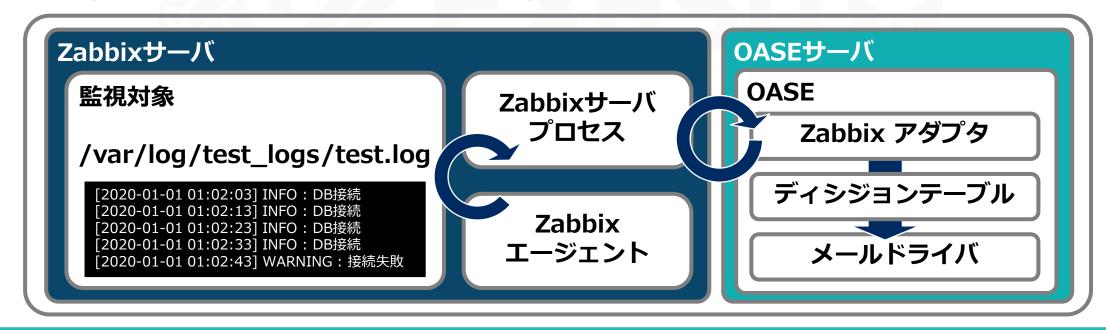


2. フローの説明



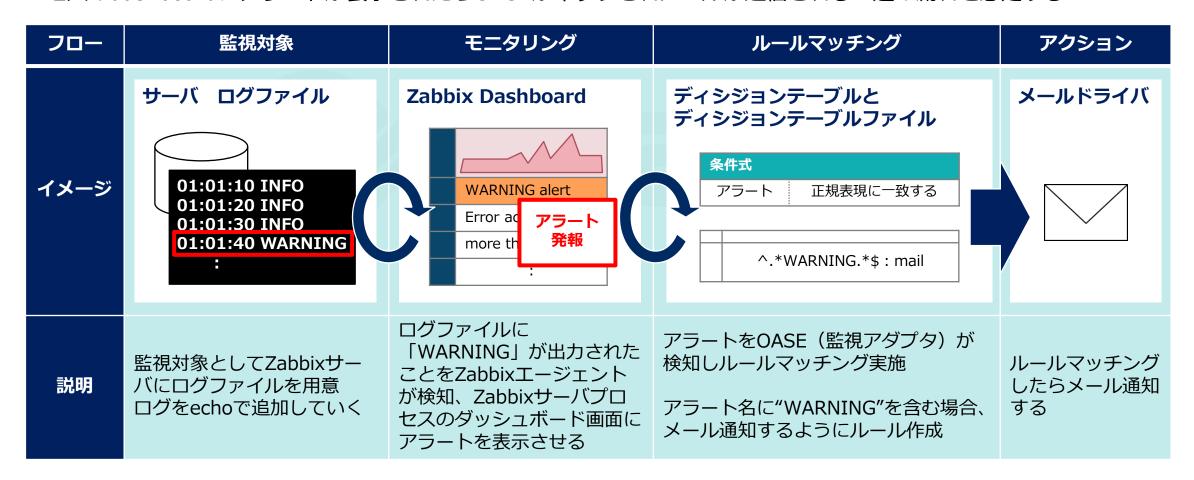
2.1 フロー全体図(1/3)

- 「Zabbix連携【実習】」では、「Zabbixサーバ」と「OASEサーバ」の2環境を用意し実施する
 - Zabbixサーバ
 - Zabbixサーバプロセスおよび、監視対象を監視するZabbixエージェントをインストールしている環境
 - 監視対象となるログファイルを用意
 - ※フロー簡略化のため「監視対象&Zabbixエージェント」と「Zabbixサーバプロセス」を同じサーバ内とする
 - OASEサーバ
 - OASE、監視アダプタおよびドライバをインストールしている環境



2.1 フロー全体図(2/3)

- ■「監視対象」「Zabbix」「OASE」を連携させることが可能
 - ●例として、特定の文字列(WARNING)を含んだログが出力されたことをZabbixエージェントが検知し、Zabbixサーバプロセスのdashboardにアラートが表示されたらOASEがキックされメールが送信される一連の流れを想定する



2.1 フロー全体図(3/3)

監視アダプタを用いたOASEの実行

●「クイックスタート」および「Base」ではpush型のリクエスト送信(=cURLコマンド)を行っていたが、「Zabbix連携」ではZabbixアダプタを用いたpull型のイベント検知をすることが可能



※Zabbixサーバプロセスのアクション設定にて、「実行内容のタイプ」を「リモートコマンド」とすることでZabbixから OASEへpush型のリクエスト送信(リクエスト用のシェルを実行させること)も可能ではあるが本書では取り扱わない

2.2 監視対象の設定

監視対象のサーバにログファイルを用意

- ●「/var/log/」配下に「test_logs」ディレクトリを作成しログファイル「test.log」を用意する
- ●ログファイルにechoでログを追記する



2.3 モニタリングの設定

Zabbixの設定

- ホストの登録(監視対象となる端末の情報を登録する)
 - 「Zabbix server」をホストとする
- アイテムの登録(検知対象となるログの情報を登録する)
 - 「/var/log/test_logs/test.log」を対象として登録する
- トリガーの登録(アラート発砲の条件を登録する)
 - トリガー(Zabbixのダッシュボードに表示される「WARNING alert」)を作成する



2.4 ルールマッチング~アクションの設定

OASEの設定

●事前設定

- 監視アダプタのインストール~設定(モニタリングするZabbixの情報を登録する)
- ・メールドライバのインストール~設定(メールドライバの登録、メールテンプレートを作成する)
- ディシジョンテーブルの作成

• 作業実行

- ディシジョンテーブルファイルの作成(アラートに「WARNING」を含んでいる場合メールドライバがアクションを実行するよう設定)
- ルールの登録、ルールマッチング(ステージング適用、プロダクション適用)



